

ひらふ第一駐車場再整備 中間まとめ報告会 2回目 顛末

日時：平成30年4月25日（木）13時30分～

場所：中小企業センター

参加者：15人（別紙名簿のとおり）

事務局	1 開会
事務局	2 ひらふ第一駐車場の再整備についての中間まとめ報告
	<別添資料に基づき説明>
	<質疑>
参加者	第一駐車場の土地について、底地は町有地、上のアスファルト、舗装は道の財産となっているのか。
事務局	土地は町有地であり、その上にあるアスファルトは、町と道の所有（財産）となっています。
参加者	補修については、道が行っているのか。
事務局	実質、町が行っています。
参加者	東急では通勤者用に以前、高木山荘の跡地を借りて駐車場としていた。この有識者会議においては、マイカー通勤者の割合などは把握しているか。また調査などは実施しているのか。
事務局	まだ調査等していません。
参加者	まずもって、現状を把握しないと、次のステップにはいけないと思われる。仮に通勤者が8割いるのであれば、別の手段、交通手段などを検討することも可能かと。現状として、あのエリアには200台以上のワゴン車（送迎用）があります。そうなれば、公共の循環バスを運行させるなど、検討していくべき。まずもって実態を把握してから、青写真をつくらないと、現状と差が出てくることが考えられる。
事務局	実態調査をしていないことについては、有識者会議においても、話題となりました。再整備をするにあたり、必要な駐車台数、現状の第一駐車場の駐車可能台数は把握しておりますが、新しい駐車場は

誰がどのように利用するのか、これは運用の問題であり、再整備とは現時点では切り離して考えることとしています。あくまでも第一駐車場の現状課題を解決するためには、どのようなハード整備が必要なのかを議論してきましたが、頂いたご意見はよく理解しておりますので、今後構想案を策定するにあたり、話題となってくるのではと思われます。マイカー通勤については、宿泊税の導入の動きもあり、ニセコエリア（3町）の域内交通の再構築に活用しようという考えもあるので、先ほどの意見も含めて同時進行していることについてご理解いただきたい。

参加者

スライドの9番目について、道南バスが4列目にいて、路線バス扱いのため、本来はウエルカムセンターの前にいるべきであり、送迎車がいるため、停車できない現状にあります。スライド12では、大型バスの停車位置が3箇所に分かれていて、利用者としては分かりにくく、危険な状況にある。スライド13は、混雑する原因として、送迎車が、札幌や空港から到着するバスを待っていて、到着する時間が分からないため、長い時間送迎車が待機していること、また、出庫しやすいように停車間隔が広がっていることが、混雑の原因となっている。解決には、ある程度のルールを作ることで、混雑と危険が緩和されると思われる。

第一駐車場は、遠方からのお客さんではなく、近距離移動者が利用している現状にある。エリアで働いて休日の人やコンドミニウム宿泊者のレンタカー利用者が駐車している。このような人たちは、エリア内の循環バスを利用できる方々が、車で来て駐車しているため、混雑に拍車をかけている。また、これまで第二駐車場に待機していた大型バスが、待機できない状況にある。この第二駐車場に待機していたバスが第一駐車場で休憩、待機しており、ツアーバスなども同様となっている。大型バスが待機する場所もない現状にある。

駐車場の複層化について、建設場所は第一駐車場より、第二駐車場の方が適している。グランドレベルとマウンテンセンター側に出入り口を設置でき、景観への影響も少ないものと感じている。

サンスポのターミナルについて、左折レーンのみならず、右折レーン（ニセコ側からの車両）の設置も必要となる。ロードヒーティングについては、ひらふ十字街からニセコ方面、サンスポの前あたりまで必要となる。

事務局

第二駐車場については課題があり、駐車場ではなく、体育施設という位置付けになっています。

参加者	第二駐車場は、エリア内従業員用の駐車場となっており、数日間動かさない車両があり、除雪に苦慮している現状がある。以前は少なく、何とか対応できたが、昨今では大型バスが除雪の影響で待機できない状況にある。ある程度のルール（この日は羊蹄山側に駐車、別の日ではゴンドラ側など）があれば良いと思うが。
参加者	警察の管轄かもしれないが、場内で逆走することもしばしば見受けられるので、第一駐車場での利用制限の権限は、町として文書通達などすることはできるのか。
事務局	おそらく、可能と思われる。著しく危険な行為をする車両などへ通達することは可能かと思われる。
参加者	利用している事業者のうち、マナーが悪い事業者もいるので、ぜひ実施してもらいたい。
参加者	車両の通行許可については、バブル期に実施していた経過がある。ゴンドラ坂は違法駐車も多く、送迎車などの看板をつけて通行していたこともあった。近年では、対応が難しいものと思われるが、乗降のみは可能など、一定程度の制限、長時間の駐停車は制限すべき。 (第一駐車場内)
参加者	このような議論を行うにあたり、疑問に感じることもある。リゾートとして、どういう方向で進んでいくのかが見えてこないことが多くある。第一駐車場はこのエリアの中心部、駐車機能のみの議論で、世界のニセコを期待する人は、どう感じるかが重要では。リゾート全般を考えると、休憩所、特に集まれる場所づくりも必要に感じる。
参加者	交通について、左折レーンの設置で交通渋滞を緩和するということは嬉しいこと。このエリアに住んでいる人間として、ある程度原因が分かっている。ひらふ十字街交差点のニセコ側の違法駐車と、ひらふ十字街がスクランブル化されておらず、右左折ができない車両が多くあり、これらが要因と思われる。もう1つは、夕方の時間帯、ひらふ十字街のバス停でバスの停車、セイコーマートへの車両進入ができな状況、これらが重なって渋滞を引き起こしており、加えて、綾ニセコへの右折車も原因となり、渋滞を引き起こしている。このため、左折レーンのみならず、右折レーンも考慮していただきたい。また、綾ニセコ側の歩道設置のみならず、サンスポ側から綾ニセコ側へ通行可能な歩行者用のトンネルを設置すると、渋滞緩和も想定できるので、考慮いただきたい。

事務局

駐車場を新しくしたことによって、新たな交通障害が発生しないよう、十字街の交通渋滞の緩和も含めて、再整備を考えていきたい。

参加者

エリア内の交通を円滑にするということで、セイコーマート前のバス停（民間設置の待合所）では、バス停は本来路線バス以外の車両は交差点から 10 メートル以外は駐停車禁止となっていると思われる。このバス停を使用している路線バス以外の事業所が多く、大型バスが 2 台程度停車していることがあり、これらが混雑の原因となっている。これは適法なのか否か、このバス停を使う事業者が増えている状況のもと、さらに交通渋滞を引き起こすことも想定されるので、路線バスのバス停のあり方について、関係者に照会していただきたい。

3 閉会

事務局

このほかご意見はありますか。
ご意見等ないようなので、これで、本日の中間まとめ報告会を終了いたします。